大森六中だより

令和７年　　４月号
大田区立大森第六中学校
統括校長　　菅野 哲郎
TEL　3726－7155

六中だよりはHPからもご覧いただけます。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

青竹のごと 健やかに

４月７日の始業式は３年生123名、２年生117名が進級し、４月８日の入学式では147名の新入生を迎えて、全校生徒387名で令和７年度がスタートしました。

始業式では、２・３年生に、「良き伝統を受け継ぎ、新しい歴史を作る主人公は生徒の皆さんです。一人ひとりが主人公です。主人公として恥じない、生き方をして欲しい。主人公としての生き方は様々な本から学ぶことができる。是非1937年（昭和12年）に吉野源三郎さんによって書かれた『君たちはどう生きるか』を読んで欲しい。同じタイトルで宮崎駿監督が作られた映画は、本の内容とは異なるが、登場人物が本に影響を受けている。主人公として誇れる生き方をするために、卒業式の式辞でも述べたとおり、とにかく本を読め」と伝えました。

入学式は穏やかな天気の下、多くのご来賓、保護者の方々に参列いただき、伝統の校旗入場で厳かに始まり、初々しい新入生と２・３年生の落ち着きのある態度で、立派な式となりました。

式辞の一部をご紹介します。

「(前略)本校は教育目標として『気品のある生徒』『実力のある生徒』『健康の優れた生徒』を掲げています。

校歌の歌詞を見てみると、『気品』は1番に『気高き心』、『実力』は二番に『まことのちえ』、『健康』は三番に『青竹のごとすこやかに』と示されています。

始めの『気品』とは、着飾ることなく、内面の美しさが表れる様子です。そのために必要となるのは『利他の心』です。自分の利益になることよりも、人の助けになることを常に考える。例えば、挨拶を大切にすることで、された人の心が救われる場合もあります。

二番目の『実力』の意味は、単に知識や技能を身に付けるだけでは足りません。身に付けた力を、地域や広く社会が抱える課題の解決に役立てることができるようになって、はじめて『実力』と言えます。

三番目の『健康』は、幸せな生活を送るために心と体の健康は欠かせません。そのために適度な食事と運動と睡眠の三つを大切にするように心掛けてください。

これらの教育目標の下、SDGs、この言葉は皆さんも耳にしていると思いますが、2030年までに持続可能な社会をつくるために、本校はユネスコスクールとして、特に、気候変動や食糧問題、自然災害、そして平和の問題に向き合い、より多くの人に影響を与える行動を考え、試みることをとおして、多様性を知り、責任性を養い、創造性を培います。

そして、教職員と上級生は、皆さん一人一人の学校生活が楽しく充実したものとなり、入学して良かったと思えるように、サポートします。(後略)」

第７９回　入学式

４月８日（火）、１４７名の新入生が本校に入学しました。今年は１学年５クラスと、多くの新入生を迎えることができました。厳かな雰囲気の中取り行われた入学式。新入生呼名、新入生代表のことば、それぞれに、これから始まる生活への期待の思いが感じられました。

新入生歓迎式

４月１０日(木)の５校時に新入生歓迎式が行われました。新入生に一日も早く六中に慣れてもらおうと、生徒会役員が時間をかけて準備をしてきました。

生徒会執行部の先輩がたの先導のもと、新入生が入場しました。その後、生徒会や各専門委員会の委員長より、六中の取り組みや施設、委員会、中学生らしい行動などが、実演、動画を交えて分かりやすく紹介されました。最後に、花鉢の贈呈、本校オリジナルキャラクター「ボラピー」のストラップ贈呈や、「平和の歌」の披露が行われ、先輩たちのおもてなしの気持ちと、六中のホスピタリティが感じられる会となりました。

部活動説明会

新入生歓迎式と同日の６校時、１年生に向け２、３年生の各部の生徒たちが、部活動の紹介を行いました。部活動説明会では、会全体の司会進行、「部活動の心得」説明、そのいずれもが各部活動の部長らによって取り行われます。部活動紹介では、各部の部員たちが新入生の前で練習の様子などを実演したり、寸劇を取り入れたりし、笑いあり、拍手ありの説明会となりました。

１４（金）からは、早速仮入部が始まりました。期待を膨らませながら、思い思いの部活動へと向かう新入生たちの姿が各所にて見受けられます。仮入部期間は今２４日（木）までです。